

保護者等からの児童発達支援事業所評価の集計結果(公表)

公表:令和 3年 11月 20日

事業所名 こぼんはうすさくら札幌月寒 教室

保護者等数(児童数) 19名 回収数 12枚 割合 63%

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	10件	0件	0件	2件	現場の広さを把握していない。	面談などでお越しの際にご希望があれば、教室内をご案内できるように対応いたします。
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	8件	0件	0件	4件	現場の人員を把握していない。	こぼんだよりに先生の紹介なども加え、充実させていきます。
	3 生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	10件	0件	0件	2件	現場の状況を把握していない。	面談などでお越しの際にご希望があれば、教室内をご案内できるように対応いたします。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境となっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	10件	0件	0件	2件		
適切な支援の 提供	5 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	12件	0件	0件	0件		
	6 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	11件	0件	0件	1件		
	7 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	12件	0件	0件	0件		
	8 活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	11件	1件	0件	0件		
	9 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	5件	6件	1件	0件		
保護者への 説明等	10 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	12件	0件	0件	0件		
	11 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	11件	0件	0件	1件		
	12 保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)が行われているか	6件	0件	1件	5件		
	13 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	11件	1件	0件	0件		
	14 定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	11件	0件	1件	0件		
	15 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	2件	1件	4件	5件	コロナ禍で難しいと思う。	コロナ禍で難しい状況ですが、落ち着いてきましたら計画していきたいと考えています。
	16 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	10件	1件	0件	1件	伝達が届いていないと感じる事もあった。	保護者様からの申し入れがあった際には、報告・共有するよう対応させていただいていますが、至らない点もあるかと思えます。再度徹底するよう周知を行います。
	17 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	10件	1件	0件	1件		
	18 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	9件	1件	0件	2件		
19 個人情報の取扱いに十分注意されているか	12件	0件	0件	0件			
非常時等の 対応	20 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	7件	1件	1件	3件	説明はされているが、訓練しているとは聞いていない。	こぼんだよりに訓練実施の報告や様子をわかりやすくお伝えできるよう工夫していきます。
	21 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	5件	0件	1件	6件	訓練しているとは聞いていない。	こぼんだよりに訓練実施の報告や様子をわかりやすくお伝えできるよう工夫していきます。
満足度	22 子どもは通所を楽しみにしているか	12件	0件	0件	0件	すごく楽しみにしています！	現状に満足せず、更なる支援の向上に努めていきます。
	23 事業所の支援に満足しているか	12件	0件	0件	0件		

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 3年 11月 20日

事業所名 こぼんはうすさくら札幌月寒 教室

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	10件	0件		
	2	職員の配置数は適切であるか	10件	0件		
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	9件	1件		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	10件	0件		
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	3件	4件	電子掲示板などを活用して職員間で情報共有している。	検討段階からよりパートさんを含め、可能な限り多くの職員が参画できるよう会議の設定などを工夫する。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	9件	0件		
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	5件	3件		パートさんなどは公開されていることを知らない方もいるため、電子掲示板などを活用して知る機会を増やしていく。
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	2件	5件		業務改善事項が外部評価によるものかなど、わかりやすく伝えるよう努める。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	4件	4件		パートさんを含め、可能な限り多くの職員が参加できるよう研修の設定などを工夫する。
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	8件	0件		
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	7件	2件		使用しているツール類の目的や用途などが理解できていない職員に向けた勉強会などを検討する。
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	9件	0件		
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	9件	0件		
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	4件	4件	パートさんも立案・提案できるツールやルールが整備されている。	ツール類を広く職員に活用して貰えるよう周知方法を検討する。
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	9件	0件		
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	8件	0件		
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	8件	0件		
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	8件	0件		
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	8件	0件		
20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	7件	1件		モニタリング結果や支援計画の見直しが行われていることを把握していない職員に対し、再度教育などを検討する。	
関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	5件	2件		担当者会議の議事録や配布資料の回覧を確認するよう再度周知を行う。
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	8件	1件		担当者会議の議事録や配布資料の回覧を確認するよう再度周知を行う。
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	0件	0件	対象児童なし。	
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	0件	0件	対象児童なし。	

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
	25 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	8件	0件		
	26 移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	8件	0件		
	27 他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	5件	3件	電子掲示板などを活用して開催案内を周知している。	積極的な受講を促進できるよう、目標設定やキャリアパスを明確するよう努める。
	28 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	1件	8件	コロナ禍で開催困難な状況。	
	29 (自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども子育て会議等へ積極的に参加している	1件	7件	コロナ禍で開催中止となっている。	
	30 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	9件	0件		
	31 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレントトレーニング等)の支援を行っている	2件	5件	保護者様のご要望に応じて、必要の都度支援を行っている。	個人レベルの対応とならないよう、電子掲示板などを利用して共有するよう努める。
保護者への説明責任等	32 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	9件	0件		
	33 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	9件	0件		
	34 定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	8件	0件		
	35 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	0件	9件	コロナ禍で開催困難な状況。	
	36 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	9件	0件		
非常時等の対応	37 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	1件	7件	連絡帳などを通じてお伝えしている。	こぼれだよりの定期的な発行や内容の充実を図っていく。
	38 個人情報の取扱いに十分注意している	9件	0件		
	39 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	9件	0件		
	40 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	0件	8件	コロナ禍で開催困難な状況。	
	41 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	9件	0件		
非常時等の対応	42 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	5件	2件		訓練日に出勤していない職員が無関心とならないよう伝達方法を工夫する。
	43 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	8件	0件		
	44 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	4件	3件	保護者様からの情報によって対応している。	保護者様の指示が医師の指示に基づくものとの認識していない職員の意識向上に努める。
	45 ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	9件	0件		
	46 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	5件	2件	研修に参加できなかった職員向けに電子掲示板で研修資料を閲覧できるようにしている。	全職員が修了したことを確認できる手段を検討する。
	47 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	3件	4件	対象児童なし。	身体拘束とは何かを曖昧に捉えている職員もいるため、虐待防止研修などの機会に意識統一を図り、組織的な対応レベルの向上に努める。